「くるめゼロカーボンチャレンジらぼ」第１回開催レポート

令和８年８月23日、「くるめゼロカーボンチャレンジらぼ」の第１回を開催しました。

主催は東久留米市、運営は一般社団法人サステナブル市民会議代表理事の横山稔さんと進めています。

「くるめゼロカーボンチャレンジらぼ」には、公募によって集まっていただいた21名の東久留米市民が参加しています。

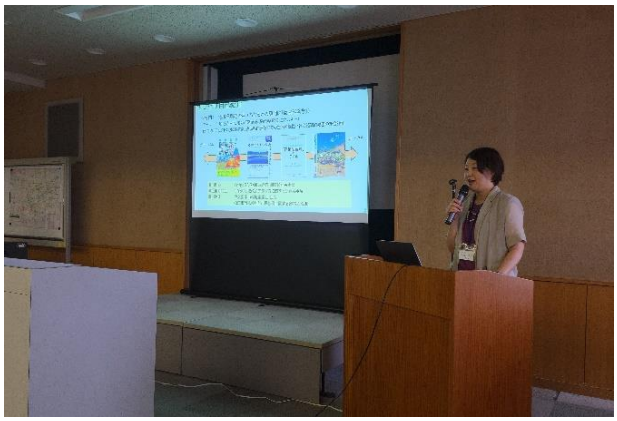
第１回は、「気候変動や環境問題の現状を知ろう！」というテーマで開催しました。参加者数は16名でした。

富田市長のオープニングメッセージから始まり、それに続いて任命式を行いました。





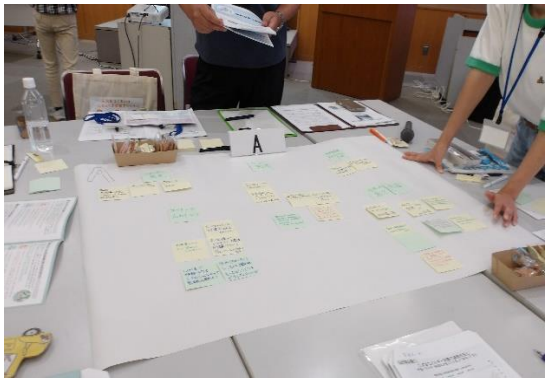
その後は、事業構想大学院大学教授の重藤さわ子さんによる講演が行われました。東久留米市環境審議会会長という立場から、「今起きている環境変化と第三次環境基本計画」というテーマでお話いただきました。私たちの社会や経済は環境という基盤に支えられていること、生物多様性の喪失や気候変動への対策が最大の政策目標として掲げられる時代になったことなどが共有されました。



後半は、「気候変動や環境問題について感じていること、学びたいこと」というテーマでグループワークをし、その結果を発表したうえで、全体で意見交換をしました。

意見交換では、参加者から挙がった質問に対し、重藤さんと司会の横山さんとの対話形式での回答がなされました。短い時間のなかでしたが、「市民が環境に関心を持ち行動するには？」、「ごみの分別やリサイクルの考え方や意義は？」、「緑地を保全する方法や意義は？」などの意見が出ていました。





第１回でしたが、熱心な話し合いが行われていて、たくさんの気づきやご意見などを共有いただけました。参加者の皆さんは、環境問題に対して強い危機感を持っており、「どうしたら他の市民にも関心を持ってもらえるのか？」という発言が多数あったのが印象的でした。

環境政策課（A.K）